



学校だより

めざす学校像<安心して過ごせる学校>『毎日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 西村 佳代子

加小っ子だより

2学期が始まりました！

令和2年9月1日No.1 1

いつもより短い夏休みが終わり、2学期が始まりました。学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。今年は県下に新型コロナウイルス感染症における緊急警戒宣言が発令され、自粛の夏休みでした。感染防止のため、遠くへ出かけたり、大人数で集まったりすることは控えなければなりませんでした。

しかし、反対に、家にいることで家族のつながりが深まったり、地域の良さに気づいたりすることもあったのではないのでしょうか。新型コロナウイルスが原因でできなかったことより、そのことで、こういうことが分かった、できた、気づいたとなれば、ピンチもチャンスになるのではないのでしょうか。

8月31日に緊急警戒宣言は解除されましたが、2学期も情勢は厳しいことから、これまで当たり前として取り組んできた行事を見直さなければなりません。感染症対策や授業時数確保を考慮し、どのように工夫すれば、子どもたちが目的をもって取り組み、思い出に残るような行事になるか、協議しながら進めていきたいと思えます。2学期もご支援・ご協力をお願いいたします。

【みんなが安心して過ごせる学校「毎日が楽しく、明日が待たれる学校」になるため、大事にしたい5つのこと】

- 1 気持ちのよいあいさつや返事 挨拶は自分から
- 2 時間いっぱい使って みんなで掃除
- 3 時間を守る
- 4 しっかり聴く
- 5 トイレのスリッパをそろえる

黙って静かにしていることが聴いていることではありません。話している人が、何を言っているのか考え、反応しながら、聴きましょう。そして、わからないことは、質問しましょう。わからないことが勉強の出発です。



あいさつ運動の横断幕が新しくなりました

これまで子どもたちに繰り返し、あいさつについて話してきました。あいさつ運動を委員会でも取り組んでいます。少しずつですが、子どもたちも意識するようになってきました。そこで、写真のように横断幕を新しくしました。ぜひ、ご家庭でも習慣になるようご協力ください。

新型コロナウイルス感染症に係る学校生活について

文部科学省が8月6日付けて「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～」(Ver. 3)の通知を受け、鈴鹿市教育委員会から「学校における新型コロナ感染症対策に関するQ&A」(8月20日版)が出されました。加佐登小学校でも市の方針に従い、感染症対策に取り組みます。ご家庭におきましても、引き続き、毎日の検温カードへの記入にご協力いただきます。また、発熱等風邪の理由で欠席の場合はこれまで同様「出席停止」対応とします。

◆ 市教委作成のQ&Aから一部抜粋【授業に関すること:変更分】

- ・ 児童生徒間の間隔をとり、※スクール形式で授業を行うことを基本とし、「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」は慎重に実施することを可とする。※全ての机・椅子が黒板の方向を向いている配列の仕方



- ・ 音楽等の授業

当面は、「室内で児童生徒が近距離で行う合唱」は避け、合唱する場合は、子どもの間隔をできる限り離し、フェイスシールドを着用するなどの感染予防対策や換気を徹底した上で、慎重に実施する。リコーダーや鍵盤ハーモニカ等の等の演奏に係る学習についても、子どもの間隔をできるだけ離し、感染予防や対策や換気を徹底した上で慎重に実施することも可能とする。実施が難しい場合は、授業で初めて取り扱う内容についての動画視聴などを通して、十分に指導を行った上で、家庭学習に代替したり、実施期間の入れ替えを検討したりする。

- ・ 家庭科等の調理実習

7月17日付け文部科学省からの通知で『感染状況に応じて、年間指導計画の中で指導順序を変更した上で、学校の授業で取り扱うことが望ましい』とあるため、学習内容の精選するとともに、感染予防対策を講じた上で、慎重に実施することを可とする。実施が難しい場合には、初めて取り扱う内容については、授業で取り扱いなどについて動画視聴などを通して、十分に指導を行った上で、実習を行わず、動画視聴及び家庭学習で代替したり、実施時期の入れ替えを検討したりする。

熱中症対策について

残暑が厳しく、炎天下での登下校となっています。帽子や傘など頭を覆う物をお願いします。また、こまめな水分補給が大事です。学校に持ってくる水筒の中の飲み物は、お茶か水を入れていただきますようお願いいたします。